

本でも出来ないわけではなく、生産に携わろうかという人たちがいる。うちの議員の中でも、イチゴの栽培をして、余ったものはジュースとかシャーベットにして販売する方法を考えている。これも一つの六次産業である。



常総市産のお米を使ったおせんべいは特に有名である。これをもっと有効に利用して六次産業化につなげていく。

新商品を開発することも一つの方法である。地場産業であるおせんべいとかお酒の製造、これをしっかりと特区として申請し、地域振興を図ることが大切であると考える。

たとえば、農政課に六次産業化の専門チームか支援チームを作って、市の発展を図っていただきたい。

答弁（産業労働部長）

①啓発や関係者とのネットワークを構築し、相談対

応の体制作りを進める。

②相談があつた場合、農林事務所や農業改良普及センターと連携した指導や、県サポートセンター等の紹介。サポートセンターを通じた六次産業化プランナーのサポート要請等により支援する。

③既存の地場産業との連携も視野に入れ、推進する。

再質問（議員）

振興策に関し相談件数やどう指導したか何う。簡単に六次産業というが生半可な気持ちでは失敗するしお金もかかる。国の補助上限は5000万円だが、システム構築には億単位のお金がある。これを踏まええうえで農家、商家の若い方を育成しなければならぬ。こういう事がありますよとよく知らしめる方法を検討いただきたい。

再答弁（産業労働部長）

現時点で相談はない。意欲ある農業者に対し周知に努め、振興に努めている。

要望（議員）

これはどこかがリーダーシップを取らないと形にならない。役所がリーダーシップをとり、こういうものがあるんですよ、どうか参加してください、やってい

きましよう、そういう思いを発信していただきたい。そうしないと、これはお題目と一緒。備えているだけ。そうならないよう、産業労

新築する学校・庁舎への太陽光発電の設置について

質問（議員）

先の大震災により市内の学校や市庁舎も被災し、余儀なく立替が計画されている。

市庁舎、そして学校、これは公共施設という事で、緊急避難場所に指定されている。

この場所において、電気の供給量が、緊急時には危ういのではと私は考える。

働部の皆さんに要望する。
(その他の質問)
○絹西小学校児童クラブについて

倉持 守議員

庁舎・学校施設には出来れば緊急時に電力を供給するような、国でも奨励している工コの観点からの太陽光発電、これをぜひ設置していただきたいと考える。緊急時には、そこで何日間避難するか想定がつかないその緊急時に電気がないという事ではそこで生活が出来ない、となる。

電気の供給には、ガソリンや重油による発電機があり、太陽光発電と比べ、安価ではある。しかしながら、今の政策において奨励しているわけであり、ぜひに、この太陽光発電の設置をしたらどうか、執行部の考えを伺う。

答弁（教育部長）

石下中・水海道西中は、基本設計段階で検討したが見送った経緯がある。石下西中は整備予定である。

答弁（企画部長）

庁舎等建設検討会議の中

で自家発電及び太陽光発電施設の規模等につき、費用対効果を考慮しながら導入する。

請願・陳情の審査結果

【請願第1号】

○早期の学校耐震化及び教育復興を求める請願 採択

【請願第2号】

○教育予算の拡充を求める請願 不採択

【請願第3号】

○吉野公園の早期復旧工事に関する請願書 趣旨採択

【陳情第2号】

○「県立高校の存続と高校の30人以下学級実現を求める意見書提出」に関する陳情 継続審査



太陽光発電システム

